

IFRS『概念フレームワーク』研修会

講師 公認会計士 中田清穂

東京開講 2010年
12/13(月)、12/14(火)
18:15-20:45

有限会社ナレッジネットワーク お問い合わせは、seminar@knowledge-nw.co.jp まで

※9月6日、7日開催と全く同様の内容となります。

お申込は、FAX 03-3775-1920 まで

- IFRS の基準書を読んでも、頭に入らない
- 従来の日本の会計制度のベースにある考え方と、IFRS の基本となる考え方の違いがわからない
- IFRS 時代の決算作業を行う上で、最低限の基本となる考え方を知りたい
- IFRS 対応プロジェクトに参加する経理部門、経営企画部門、情報システム部門、内部統制監査部門、そして財務担当役員の方々のために

IFRSへの関心が高まり、具体的なプロジェクトをスタートさせる動きも始めています。しかし、各企業の会計方針について、いきなりIFRSの基準を個々に突合せる影響度調査を実施されているケースが非常に多いようです。

IFRSの個々の基準にはその底流にある共通の基本的な考え方(概念フレームワーク)があります。この『概念フレームワーク』を理解しないで個々の基準にあたって、地に足のついた理解ができず、結局、影響度調査のやり直しになりかねません。

ただ、『概念フレームワーク』は難解であり、各種セミナーや書籍でも十分に解説されている状況にありません。

本セミナー【前編】では、IFRSを理解する上で非常に重要なカギを握る、「財務諸表の目的」と「質的特性」を重点的にわかりやすく解説します。

本セミナー【後編】では、【前編】で「財務諸表の目的と質的特性」を習得されていることを前提に、財務諸表の構成要素、認識及び測定について重点的にわかりやすく解説します。

『概念フレームワーク』第1項から第101項まで、すべて漏らさず解説します。

【前編】が第46項まで 【後編】が第101項までです。

『概念フレームワーク』をきちんと理解すれば、IFRSの各基準も理解しやすくなり、最近の日本の会計基準も納得できるようになるでしょう。



セミナー要項

2010年12月13日(月)18:15-20:45 IFRS『概念フレームワーク』研修会【前編】	2010年12月14日(火)18:15-20:45 IFRS『概念フレームワーク』研修会【後編】
I 概念フレームワークの存在意義	I 財務諸表の構成要素
II 財務諸表を作成する目的 - 目的指向のIFRS	II 財務諸表の構成要素の認識
III 基礎となる前提 - 日本と異なる「発生主義」	III 財務諸表の構成要素の測定
IV 財務諸表の質的特性 - IFRSの「一般原則」	

開催要項

開催日	2010年12月13日(月) 2010年12月14日(火) ※両日とも18:15-20:45 ※18:00開場
会場	東京国際フォーラム 会議室 G401 所在地:東京都千代田区丸の内3丁目5番1号 アクセス:JR線 有楽町駅より徒歩1分 東京駅より徒歩5分(京葉線東京駅とB1F地下コンコースにて連絡)
参加費	1講座1名につき 7,500円(消費税含まず) ※参加費の払戻しは致しません
定員	24名(お申込順に受付)
申込先	有限会社ナレッジネットワーク FAX 03-3775-1920
申込方法	参加申込書にご記入の上、FAXしてください。 受講証と請求書をお送りします。(2営業日以内に発送) 参加費のお振込は、開催日3営業日前までにお願いします。

参加申込書 FAX:03-3775-1920

会社名	
部署名	
ご住所	〒
参加セミナーの前に○をご記入ください。	【前編】12月13日(月)18:15-20:45 【後編】12月14日(火)18:15-20:45
ご氏名	フリガナ
TEL	FAX
E-Mail	

ご記入いただきました個人情報は、当社の受講者名簿の整備や今後開催されるセミナーのご案内等に使用します。また、登録情報は厳重に管理し、第三者に開示することは一切ございません。

参加申込書は切らずに、このままFAXしてください。